

子どもの広場

雪の学校～5年生



1月18日から20日の3日間、わかさ氷ノ山にスキー実習に行きました。初めてスキーをする児童が多く、ブーツの履き方やスキーのはめ方、プルークボーゲンの滑り方、止まり方など基礎から熱心に練習しました。初めは横歩きで斜面がなかなか登れなかった児童や、滑り出すとすぐにお尻をついていた児童も2日、3日と経つにつれて、リフトの上から笑顔で手を振ったり、少々急な斜面でも友達と一緒に滑り降りたりすることができるようになりました。A・B班の児童は、イヌワシコースの上級コースにも挑戦し、いろいろな斜面の変化に対応しながら滑ることもできるようになりました。どの児童も、コーチの熱心な指導を受けながら、上達していく姿には驚きました。

また、氷太くんでの協同生活では、互いに声を掛け合い一人一人の役割と責任を果たしていました。この3日間、児童は氷ノ山の大自然に触れる中でひとまわり成長することができました。



出発前の式で



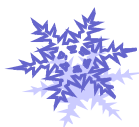
コーチにあいさつ



ゲレンデに出発！！



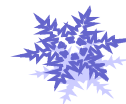
みんなで並んで基礎練習



とっても気持ちいい～



食事楽しい時間です



<ジュニア県展>

○書写の部

奨励賞 3年 足立奈津子・荒木 万弥
岡田ここ寧

○絵画の部 教育長賞 6年 中本 太郎

○写真の部 奨励賞 4年 浜本 玲奈

<全国ごはん・お米とわたし作文・図画コンクール>

優秀賞 3年 米本 颯来

<JA 共済交通安全ポスター>

金賞・日本海テレビ賞 2年 太田 来明

<鳥取県未来の夢科学の夢絵画展>

佳作 5年 縄田 隆之

<家庭の日絵画・ポスター>

最優秀賞 2年 太田 来明

おもいやりの心

鶴石 昌大

附属小学校では毎日休憩時間になると元気のよい子どもたちの声が中庭や校庭から聞こえてきます。

そんなある日、掃除時間が終わりとりがばらばらに投げられるのを見つけました。

「人は支え合って生きている。」とよく言いますが、この度おこった東日本大震災でそれを強く感じさせられました。そして、誰かのために行動できる力がとても大切だと思いました。

このことを自分たちの身の回りに置きかえて、何か他人のために行動できることはないでしょうか。とても小さなことかもしれませんが、例えば普段の学校生活で、トイレのスリッパをそろえたり、掃除道具をちゃんとしまったりすることでも、次に使う人のことを思っている行動です。

またある日のことです。散らかった掃除道具をきちんとかたづけている子どもにも出会いました。自分から進んでかたづけているのです。ほっとした瞬間でした。

ささいなことかもしれませんが、次の人が使いやすいように他人をおもいやり、行動する力を伸ばしていきたいと思っています。



